

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

フルタイム・ワーカーで忠誠心は発揮される

丹羽宇一郎 (伊藤忠商事会長・経済財政諮問会議議員)

1. 組織というものは優秀な人が 2 割、中間が 6 割、怠ける人が 2 割になる。そのような傾向があるのに、同じ給料を払うのは理不尽でしょう。これは優劣であって格差ではない。こんな差は小学校でもある。運動会の順位づけと同じです。「格差」という言葉は吟味して使うべきです。
2. 儲かっているのは一部の大企業です。優先すべきは、大手企業の従業員に回すよりも中小企業に回るようにすることです。日本の事業所の 99.8% は中小企業で、労働者の 87% が中小企業に勤務しています。彼らを元気にすることが重要です。稼ぎは大企業の社員だけで分け合うなんて、それは誤った成果主義でしょう。
3. 経営者はパートタイム・ワーカーよりもフルタイム・ワーカーを増やしたいと思っています。やはり、仕事に対する忠誠心、会社に対するロイヤルティというものが要求されます。そういう労働者でないと、企業が安心できないのです。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2007 年 2 月 3 日号)

経営者のための危機管理

目を覆うばかりのブランドイメージ低下 (日産)

1. 長きにわたり培ってきたブランドを失墜させ、凋落する企業が続出している。品質管理を怠り、「食の安全」を裏切って消費者の信用を失った不二家、技術開発を軽視して商品力を失い、業績が急落する日産自動車、良品を揃えた独自の売り場づくりが出遅れ、伸び悩む三越がそうだ。いずれも経営陣が顧客に提供するブランド価値を見誤ったり、そのブラッシュアップに経営資源を継続的に投入しなかったために、顧客からそっぽを向かれているのだ。
2. 日産は、環境対策面をはじめとする新技術開発の出遅れから、ブランドイメージの低下は目を覆うばかりだ。カルロス・ゴーン社長の現在でも、開発費はそれほど増えておらず、増益分は株式配当の増配などに充当された。周囲は、「ゴーン社長は日産にはコスト競争力がない、として自社開発という提案を却下した」と語る。先進性ある技術に経営資源を投じるより、目先の利益を求めようとするトップの姿勢なのだ。

(参考:「WEDGE」: 2007 年 4 月号)

海外事情

2010 年にも中国が日本を抜く

マティン・カルフ (英フィナンシャル・タイムズ 経済論説主幹)

1. 中国経済は、今後 20 年は今の急成長が続くと考えられる。成長のダイナミズムは高度成長期の日本と似ている。先進国の技術を追い、工業化が進み、生産性、需要が急拡大している。起点が日本よりずっと低いだけに中国はまだ上り坂が続く。経済成長が続く限り、今の政治体制も維持されるでしょう。
2. 中国は 2~3 年以内に世界最大の輸出国となり、大きな異変がない限り、2010 年にも日本を抜いて世界第 2 位の経済大国になる。GDP 比で見た内需は比較的弱い状況が続くため、中国が世界経済の消費エンジンとして、米国に取って代わることは 2020 年代、2030 年代までないと思うが、2020 年代半ばには米国に匹敵する規模になる。アジアは中国を中心に動くようになる。

(参考:「日経ビジネス」2007 年 1 月 22 日号)

古典に学ぶ

月もいたずらに見るなかれ

「人の目を看るは皆徒らに看るなり。須らく此に於て宇宙窮りなきの概を想うべし」

(訳) 月はただぼんやりと見るべきでない。そこに宇宙無限の真理を考えるべきだ。

(参考: 佐藤一斎「言志四録」: PHP 文庫)

